

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Feb.2010

2

No.592



鬼も逃げ出す まぶしい笑顔

猪苗代保育所さくら組の児童 21 人は 2 月 3 日、節分の豆まきのために町役場を訪れました。

児童たちは「鬼は外、福は内」の元気なかけ声とともに豆を投げ、役場の中の鬼を追い出しました。写真は一生懸命豆をまく長谷川優衣ちゃん(左)と鈴木流華ちゃん(右)

Go to the Vancouver 2010

祝バンクーバー冬季

オリンピック パラリンピック 出場

カナダのバンクーバーで開催される冬季五輪男子モーグル代表に附田雄剛、遠藤尚の2選手が決定。同じく冬季パラ五輪男子チェアスキー代表に鈴木猛史選手が決定。

猪苗代町から3人の選手が五輪の舞台に挑むということで、町中に応援ムードが高まっています。

1月25日、帰郷した遠藤尚選手は母校の猪苗代高校や町役場を訪れ、関係者に初となる五輪出場を報告し、激励を受けました。

1月27日には、ホテルリステル猪苗代で附田雄剛選手の壮行会が開かれ、附田選手から五輪への意気込みが語られました。

2月14日には、町農村環境改善センターで鈴木猛史選手の壮行会が開かれる予定です。五輪への出場を前に意気込みを語った3選手のインタビューを紹介します。

3選手には、町からの激励金として津金町長から5万円が贈られました。



3人の活躍を願って役場に掲げられた懸垂幕。町を挙げて応援します。選手の皆さん頑張ってください。

遠藤 尚 *Sho Endo* 忍建設スキ一部所属 (猪苗代高卒)

Profile えんどう・しょう
町内渋谷出身 弱冠19歳で初の五輪代表の座をつかんだ日本モーグル界次代のエース



初の五輪出場が決まった遠藤尚選手は1月25日、母校猪苗代高校や町役場を訪れ、五輪の出場を報告しました。
猪苗代高校では激励金の贈呈式が執り行われ、同窓会・後援会を代表して小林重希後援会長が5万円を、スキー部OB有志を代表して堀悟同窓会長が2万円を贈りました。
また、高校時代の担任だった北原利江教諭に再会し「五輪でカッコいい姿を見せて」と激励を受けた遠藤選手は「恥ずかしくない滑りで猪苗代に貢献したい。表彰台を狙います」と握手を交わしました。

遠藤選手インタビュー

— 初の五輪出場ですが。
「本当にほっとしている。決まっただけには実感がわかなかつたが、今はやっと夢のスタートラインに立ったと思っっている」
— 昨年の世界選手権には出場できなかったが。
「本当に悔しくて、五輪には絶対出場しようと思っていた。重圧で押しつぶされそうになることもあったが、この1年で精神的にも成長できたと思う」

— 現在の調子は。
「スピードとエアの完成度では世界にも引けを取らないと思っっている。ヤンネコーチにも良くなっていると言われるし、感覚と体の動きが近くなってきた」
— 五輪コースの印象は。
「バンクーバーは難しくはないコース。それだけにミスは許されない。課題のターンに気をつけて臨みたい」

— 五輪の目標は。
「表彰台を目指して恥ずかしくない滑りをし、猪苗代に恩返しをしたい。また、目標でもあり、兄のように慕っている上野修さんがけがで出場できないので、修さんの分まで頑張りたい。五輪には上野修さんのシグネチャーモデルのウェアを着て出場する。2人分の思いを背負って頑張りたい」

附田 雄剛 *Yugo Tsukita* チームリステル所属

Profile つきた・ゆうご
北海道出身 98年の長野、02年のソルトレイク、06年のトリノと3度の五輪を経験した日本モーグル界の大黒柱。4度目の出場となる五輪で初のメダルを狙う



附田雄剛選手の壮行会は1月27日、ホテルリステル猪苗代で開かれました。会場にはリステルの社員など約80人が詰め掛け、附田選手を激励しました。

附田選手インタビュー

— 4度目の五輪代表ですが。
「スキーが好きで続けてきたが、それだけでは続けてこれなかった。練習

習場所や経済的なことなど、リステルのサポートがあつて競技に打ち込むことができた」
— 現在の調子は。
「シーズン当初は非常にいい状態でしたが、左かかとを痛めて、ここ数戦のW杯では納得のいく滑りができていなかった。ただ、オフが順調すぎたために、気持ちにゆとりがありすぎて逆に不安だった。最終合宿で集中を高めればいい方向に生かせると思う」

— 五輪での目標と応援する県民にメッセージを。
「リステルの社員として恥ずかしくない立派な滑りをしたい。高野ヘッドコーチと元世界チャンピオンのヤンネ・ラハテラコーチのもと、やってきた練習に間違いはない。やってきたことを本番で出せば必ず結果はついてくると信じています。
五輪という特別な舞台なので、自分も含めたすべての選手がベストの滑りをして、その中で結果がついてきたら最高だと思っています。
五輪の後には猪苗代でW杯があります。上村愛子選手も来るので(笑) 皆さんぜひ見に来てください」

鈴木 猛史 *Takeshi Suzuki* 駿河台大スキ一部所属 (猪苗代高卒)

Profile すずき・たけし
町内蟹沢出身 06年のトリノに続き2度目のパラ五輪出場
前は滑走4位 回転12位



長野県の菅平で日本代表チームの合宿に参加している鈴木猛史選手にインタビュー。
— 2度目となるパラリンピック出場についてどう感じているか。
「前は初めてのパラリンピックで、パラリンピックという大会がどういう規模の大会なのかも分からなかった。代表に決定してから大会が終わるまで、ずっと緊張していました。
今回は、初めての時のような緊張がなく、余裕をもって大会に参加できるかなと思っっています。パラリンピックというのは4年に1度なので、レースが始まってしまつと、きつと緊張してしまつと思っいます。緊張に負けないよう、自分の滑りをしていきたいです」

— 現在の調子は。
「体調の方は調子がいいです。滑りの方はワールドカップ期間中にすごく悩んでいました。今までできた滑りが、いきなりできなくなつてしまい、レースで結果が残せずストレスがたまっていましたが、ワールドカップ終了と同時に、上手く滑れない原因について解決しました。現在は調子を取り戻し、練習を頑張っています」
— パラリンピックの抱負は。
「前回のトリノでは、メダルよりも楽しく滑ることを優先に考えていました。今回はメダルにこだわっていききたいと思っいます。でも、スキーを楽しむ、大会を楽しむというのは忘れないようにしていきたいですね」
— 町民の皆さんにメッセージを。
「今回が2度目のパラリンピックですが、出場できるのは、皆さんの応援があつたからだと思っいます。本当にありがたうございいます。前回のトリノでは、メダルを持って帰れませんでした。今回、今回は猪苗代に、メダルを持ち帰ってきたいと思っいます。全力で頑張つてきますので、これから応援よろしくお願っいます」

INTERVIEW

本質が変わらなければ、時代に合わせたスタイルになっていい



小平潟区長 佐藤 善司 さん

大切なものを後世に伝承していきたい。そう語る佐藤さんの傍らには、2人のかわいいお孫さんが寄り添っていました。2人もやがて鳥追いの歌を歌うことでしょう。

小平潟地区では、古くから鳥追いのことを「かっか」と呼んでいます。これはおそらく鳥の鳴き声からきているのだと思います。かっかには、小学校入学前の年長児から小学六年生までの男の子が参加します。稲わらで編んだ「いじこ」という入れ物を持って、歌いながら村中を回り、ミカン、お菓子やお金などをもらいました。子どもが多いころには、右回り組と左回り組で回ることもありま

とはなくなりました。地区の子どもたちもずいぶん減りました。このままではかっかを伝承していくことができなくなる。そう考えたわたしたちは、今年からかっかに女の子も参加してもらうことにしました。口伝えにより伝承される行事は、一度途絶えると再現することが難しくなります。大切なのは後世に伝承していくことです。かっかに込められた五穀豊穡への願い。その本質が変わらなければ、時代に合わせたスタイルになってもいいのではないのでしょうか。これからも地区の文化や伝統を大切に、伝承していきたいと思っています。

絶やさない 伝統の火を

特集

小正月の伝統行事として受け継がれてきた鳥追いや歳の神

少子高齢化が進む中、各地区に伝わるこれらの行事も参加者が減り、その存続自体が危ぶまれています。地域の伝統行事をもう一度見つめ直しその意義について考えます。



鳥追い

秋の収穫まで、スズメやカラスなど作物を荒らす害鳥による被害に遭わないことと、五穀豊穡の願いを込めて、年の初めに祈りをささげたことから始まったとされる。関東・信越から東北にかけて広く分布する年中行事

作物の害鳥を追い払う

鳥追い

一月十四日の夜、子供たちが一団となって地区内を回り、大きな声で歌いながら作物の害鳥を追い払う「猪苗代の鳥追い」。

「今日はこの鳥追いだ 長者さまの鳥追いだ さらばさつと追いましょ 雀の頭を八つに割って 小俵に詰め込んで 隣の村に追い流せ ヤーホー、ヤーホー」 などが代表的なものです。しかし地区によっては歌詞や節回しに微妙な違いがありました。昔は多くの地区で実施されていた鳥追いですが、現在は五地区だけです。鳥追いが実施されなくなった理由には諸説があります。一、いち早く隣の村(集落)に害鳥を追いやるので、追い込まれたとされる村では大いに立腹し、悪態の応酬になる。隣村同士が争いをしてしまうので、とうとうこの行事をやめてしまいました。二、戦争で行事が中断された後、そのままやめてしまいました。

三、集落の子どもたちが少なくなつて、行事の存続自体が困難になり、やめてしまいました。この三つが主な原因と言われています。今も鳥追いが残る地区のうち、三地区の鳥追いを紹介し、その違いなどを紹介します。

【地区の特色】 樋ノ口、小田の両地区は、隣接しているせいか大きな差は見られませんが、小田地区には「さーらばさつと追いまわしよ」の歌詞があります。

両地区に共通する「戸棚に入れて」の「戸棚」、小平潟地区の「こだら」は、「小俵」が次第になまったものと考えられる意味が通ります。「さんどがしま」は佐渡ヶ島がなまったもの。小平潟地区では「鬼ヶ島」と歌っています。

また、小平潟地区では一、鳥追いを「かっか」と呼ぶ二、一軒一軒の玄関にも入って歌う三、以前は二番まで歌詞があり、一番は「雀の頭を四つに割って小俵」二番は「カラスの頭を八つに割って大俵」と歌っていたことなど、ほかの地区とは違った点が見られます。

このように、地区によってさまざまに変化してきた鳥追い。地区独自の伝統を大切にしながら、この行事を続けてほしいです。

各地区の鳥追い



○樋ノ口地区

【歌詞】 今日はこの鳥追いだ、長者さまの鳥追いだ。雀の頭を八つに割って、戸棚に入れて、さんどがしまへ追い流せ あーらほ あらほ あっちらほー
【対象】 小学1～6年生(幼い兄弟姉妹も参加可能) 今年約30人が参加
【コメント】 6年生で今年が最後なので、一生懸命歌いました。幼稚園のころから毎年参加していたのでさみしいです(阿部智成さん 吾妻小6年)。楽しかったです。これからもずっと続けてほしいです(小椋岳大さん 吾妻小6年)。



○小田地区

【歌詞】 今日はこの鳥追いだ、長者さまの鳥追いだ。さーらばさつと追いまわしよ 雀の頭を八つに割って、戸棚に入れて、さんどがしまへ追い流せ あーらほ あらほ あっちらほー
【対象】 小学1～6年生(幼い兄弟姉妹も参加可能) 今年約20人が参加
【コメント】 鳥追いの意味はあまり分からないけど、みんなでやるのが楽しいです(五十嵐翔月さん 吾妻小6年)。子どもたちは大きな声で頑張りました。行事を伝えていくことが大事だと思います(一ノ瀬美由紀さん 保護者代表)。



○小平潟地区

【歌詞】 今日はこの鳥追いだ、長者さまの鳥追いだ。雀の頭を八つに割って、こだらにぶちこんで、鬼ヶ島さ追い流せ あっちらほー あっちらほー
【対象】 年長児～小学6年生(昨年までは男子だけ) 今年4人が参加
【コメント】 寒い中を走ったり歩いたりして疲れました。でもお菓子やおこづかいをもらえてうれしいです(齋藤瑞空さん 緑小1年)。地域行事なので頑張って継承して欲しいです。寒い中お疲れさまでした(齋藤洋子さん 保護者)。

INTERVIEW

地域と企業のコラボレーション
残していきたい伝統だからこそ
こんな形があってもいい。



町商工会長瀬支部長 石田 信義 さん

大みそかから元旦にかけての初詣で、川桁の八日市、そして歳の神は、商工会長瀬支部の正月三行事として重要視されてきました。これからもその伝統を守り続けていきます。

町商工会長瀬支部が主催する歳の神行事は、幸野、川桁、新屋敷、曲淵、東館、白津、道下、相名目中ノ目の各地区、そしてリステル猪苗代の協力で実施されています。昔は地区ごとに実施されていましたが、火災予防などの観点から広い場所が必要になり、徐々に少なくなってきました。歳の神を続けるため、新しい場所を探していたところ、宿泊客に会津地方の伝統行事を体験してもらえようとするリステル猪苗代と、広い場所できやかに歳の神を開催したいわしたちの利害が一致し、一緒にやってみようということを決めました。

秋になると、長瀬支部の会員はカヤを刈ってリステル猪苗代の敷地にある松林に運び、歳の神に備えます。リステル猪苗代では、宿泊客にチラシを配るなどして歳の神への参加を呼び掛けています。こうしたお互いの努力により、毎年にながやかな歳の神が実施されています。今年は韓国から観光客も訪れました。地域と企業がこういったケースで力を合わせることは町内でも珍しいと思いますが、残していきたい伝統行事だからこそ、こんな形があってもいいと思います。

のが達沢地区です。歳の神は、十四日に開催されます。その日の朝に焼いたもちを棒に刺して焼くという地区は、町内でもごくわずかです。また、会場にこなかった人の家を回り、雪で溶いて黒くした炭を人々の顔に塗って歩くのが「炭塗り」です。これにより一年の厄を除け、無病息災のまじないとするのも達沢地区独自のものです。「昔の歳の神は、そりやあにぎやかなもんだつたよ」「厄払いに厄年の人数分の歳の神を立てて燃やしてたからな」「太鼓を叩いて、笛を吹いてよ」「あすなるの木を芯にして燃やすと、バリバリとすごい音が出てな」地区の人たちは、懐かしそうに話します。現在は青年会の人数が減ったため、太鼓や笛はなくなりました。「歳の神や十八日の神楽は青年会の行事でしたが、人数が少なくなり事業の実施が難しくなりました。そこで、OBの人たちにも参加してもらい、青年会は文化保存会に生まれ変わりました。神楽は老人クラブが担当しています。昔と比べてにぎやかさはなくなりましたが、大切なのは行事を続けていくことです。地域の伝統を守るのと同時に、地区の人たちが顔を合わせる機会にもなりますから」文化保存会の小椋新一会長はそう話しました。

未来の歳の神 現在、町内で歳の神を実施している地区は、六十六地区。半分以上の地区で歳の神を実施しています。鳥追いをする地区は少なくなりましたが、歳の神を実施している地区がこんなに残っているのはなぜでしょうか。取材する中でいろいろの人に聞きました。「簡単に捨てづらいつめ縄飾りや神札などを処分するのにちようどいいから」という現実的な意見や「大人も参加する行事なので、十分に人がいるからだ」という話もありました。しかし、六十六地区のうち二十地区では、参加者を増やす目的や仕事を休まずにすむといった理由から、歳の神を休日を実施するようになりました。一年間の厄を払い、無病息災を祈るといふ本質は変わらないまま、時代や社会情勢に合わせて、地区ごとに実施されてきた歳の神。この行事でもう一つ得られるものが地区の人たちと一緒に一つのことをやり遂げるといふ連帯感です。わたしたちが無意識のうちに歳の神に求めているのは、こういう人と人とのつながりなのかも知れませんが、だからこそわたしたちは歳の神を大事にし、これからも続けていこうとしているのではないのでしょうか。

失われそうな伝統がある反面
根強く残るものもある
町内の半分以上の地区に残る
歳の神という伝統
そこに込められた意義とは



1月15日に実施された百目貫地区の歳の神。子どもたちは猛々しい炎の迫力に目を奪われていました。

歳の神

一年の無事を願い、厄を払う

歳の神は、小正月に実施される火祭りの行事で、日本全国で広く実施されています。会津地方では主に歳の神と呼ばれています。大沼郡三島町では、「三島のサイノカミ」と呼ばれ、国の重要無形民俗文化財に指定されています。宮城県ではどんと祭と呼ばれており、他の地方では左義長、どんどん焼き、おんべなどと呼び方が異なります。行事自体も地方によってさまざまな違いがありますが、その多くに共通しているのは、一月十四日または十五日の夜、刈り取った後の田んぼなどの広い場所に、長い竹または神木などを立てて、そこにワラやカヤなどをつけます。その上に今年飾った門松、しめ縄飾り、古い紙幣や神札などを飾りつけて燃やすというものです。また、その火で焼いたもちを食べたり、灰を持ち帰り自宅の周囲にまいたりすると、その年の病や厄を除きます。書き初めを焼いた時に炎が高く上がると字が上達するなどと言い伝えられています。



その日についたもちを焼く達沢地区の歳の神。

過去の歳の神

猪苗代町の歳の神は、一月十五日か十六日に開催されてきました。歳の神では、棒の先にもちやすめを刺したものを焼き、それを食べると脳病みがない(頭痛にならない)、腹痛にならない、風邪をひかないなどと言われています。厄除けの意味もあるとされ、これらは現在も続いています。また、その火でつけたたばこを吸えば虫歯にならないとも言われます。歳の神の日だけは子どもたちの喫煙を大目に見たという時代もありました。

現在の歳の神

町内でも独自の風習が残っている

地域に伝わる伝統は 形を変えながら 受け継がれていく

取材を終えて

時代は刻々と変化している。地域の文化や伝統は簡略化され、本来持つ意味さえ失ってしまったものもある。残念であると思う反面、そこまでして地域行事を残す意義について考えてみた。

その意義とは、地域の人々が一体となって何かを成し遂げることの素晴らしさや古き良き時代から受け継がれてきた行事の本質を理解し、次世代に伝えていくことではないだろうか。

歳の神という行事がもたらす地域の一体感、核家族化などにより失われた世代間の交流や隣近所という地域コミュニティの存在を確かに感じさせてくれる。そんな貴重な時間を過ごせるだけでも地域行事には大きな意義がある。

地域行事に参加し、自分の暮らす地域の文化や伝統について学ぶことで、自分の住む地区にもっと愛着がわく。誇りに思うことができる。

その誇りを次世代に引き継いでいくためにも、やはり地域行事は必要だ。

絶やしてはいけない 伝統の火を。

特集 絶やさない 伝統の火を
終わり

参考文献 猪苗代町史(民俗編)
協力 各行政区長

1月15日、リステル猪苗代で実施された歳の神
近隣の住民や宿泊客など多くの人が参加し、今年1年
の無病息災を祈った

晴れの日を迎えた 新成人からひと言



01



02



03



04



05

- 01 校長先生(土屋重憲教育長)にいろいろと愛のこもった指導をしていただいたおかげで成人を迎えることができました。自分たちが住みやすい世の中を作れるように頑張ります。 清野亮太さん(中央 会社員)
- 02 ここまで育ててくれた両親や親戚の人に感謝しています。まずは自立した生活をして、その後ちょっとずつ恩返しをしたいです。長谷川隼人さん(右端 専門学生)
- 03 成人を迎え、これからも夢に向かって進んでいきます。佐藤有紀さん(中右 会社員)
- 04 成人になった自分自身をしっかりと見つめ、社会に対して責任を持って頑張っていきたいです。本多直子さん(左 大学生)
- 05 県外の高校に進学し、親にも心配をかけたのではと思います。感謝しています。しっかりと仕事をして、誰にでも頼られるような存在になりたいです。神 雄介さん(中左 会社員)



01



02



03



- 01 町長から成人証書と記念品を受け取る渡部志保さん
- 02 「地域社会に貢献していく」と力強く宣誓する新成人代表の鈴木大介さん
- 03 「20年間親に育ててもらったことへの感謝を忘れず、看護師として人の役に立つように頑張っていきたいと気持ちを新たにしました」とほほ笑む青柳美美さん(左端 短大生)と友人たち

22年の町成人式は1月10日、町体験交流館学びいなどで執り行われ、男子87人、女子76人の計163人が新成人として晴れの門出を迎えました。

式では津金町長が「お世話になった人への感謝の気持ちを忘れることなく、若さと揺るぎない信念を持って、夢に向かって進んでほしい」と式辞を述べた後、町内6地区の代表者にそれぞれ成人証書を手渡しました。

関澤和町議会議長、小檜山善継県議が祝辞を述べた後、成人代表の鈴木大介さんが「社会人としての責任や古里への誇りを忘れることなく、地域社会に貢献していく」と宣誓、成人としての誓いを新たにしました。

式典終了後は、色とりどりの振り袖や羽織はかまなどに身を包んだ新成人たちが記念撮影をするなど、旧友との再開を喜び合う姿が見られました。

成人おめでとうござります



月輪・長瀬・吾妻地区の新成人



猪苗代・翁島・千里地区の新成人

社会保険庁は、 「日本年金機構」に変わりました。

わたしたちは、年金記録問題の解決に向けて、
全力で取り組みます。

- ◆わたしたちの使命は、お客様である国民の皆さんに、正しくかつ確実に年金をお支払いすることです。
- ◆わたしたちは、お客様にとって、身近で信頼される組織を目指します。
- ◆そのためにわたしたちが大切にすること。

- ・お客様の立場に立ち、誠意をもって対応します。
- ・正しく確実に業務を遂行します。



会津若松年金事務所の相談コーナーの様子

わたしたちは変わります

- 年金相談では、必ず名刺をお渡しし、お客様にとってプラスとなる「もう一言」を心がけます。
- お知らせ文書や届出・申請書類は、できるだけわかりやすく、読みやすくします。
- 民間会社の経験者を1,000人以上採用しました。能力・実績本位の人事方針を確立し、組織風土を変えます。
- 「理事長へのメール・手紙」などによって、国民の皆さんからお寄せいただくご意見・アイデアを業務運営に反映します。

ねんきん定期便に関する問い合わせ

ねんきん定期便専用ダイヤル
0570-058-555 (ナビダイヤル)
IP電話・PHSからは03-6700-1144

※これらのナビダイヤルに一般の固定電話からかける場合は、全国どこからでも市内通話料金で利用できます。ただし、携帯電話からの場合は通常の料金がかかります。

日本年金機構 ■問い合わせ先 日本年金機構経営企画部広報グループ
☎ 03-5344-1100 ホームページ <http://www.nenkin.go.jp/>

手続きは変わりません

- お近くの社会保険事務所は「年金事務所」と名称が変わりました。所在地や電話番号の変更はありません。
- 皆さまからの新たな手続きは必要ありません。年金証書や年金手帳なども、そのまま有効です。
- 年金の支払いや各種の届出方法は、いままでと変わりません。
- 日本年金機構が実施する国民年金・厚生年金保険の業務運営には、国が引き続き責任を持ちます。

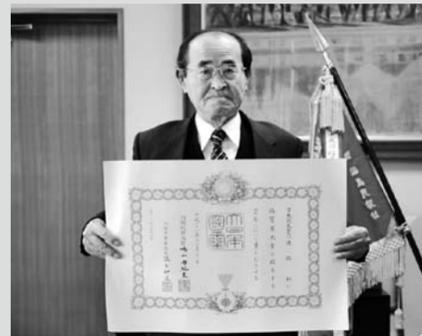
一般的な年金相談に関する問い合わせ

ねんきんダイヤル
0570-05-1165 (ナビダイヤル)
IP電話・PHSからは03-6700-1165

統計調査員として 瑞宝単光章を受章

Profile わたなべ・とし

1930年内野生まれ、57年から各種統計調査員を務め、そのうち4年間を町統計調査員協議会会長として町統計調査の発展に寄与した。現在も現役の調査員として活躍中。統計調査員だけでなく、民生・児童委員、人権擁護委員としても活躍し、02年から08年まで若松人権擁護委員協議会副会長なども歴任した。
●主な受賞歴 79年 事業所・企業統計調査功労者として内閣総理大臣表彰、98年 統計調査功労者として福島県知事表彰 など



温厚で誠実、精度の高い統計調査で地域住民の信頼が厚い渡部利さん(79)は内野。秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した。
「長年務めてこれたのも、町長はじめ関係機関の皆さんのご協力のおかげです」と控えめに話す。
57年事業所・企業統計調査員に就任。以来04年まで36年間にわたり迅速かつ正確な調査で統計調査の発展に努めた。この間、国勢調査、農林業センサス、工業統計、商業統計などの調査員を兼任する一方、民生・児童委員、人権擁護委員も務め、住民福祉の向上のためにも尽力した。
「統計調査員は、信頼される人間でなくてはならない」という信念を持って調査に取り組む渡部さんは、後輩にもそう指導している。「住民の皆さんには、統計調査が自分たちのためのものであることを知ってもらい、さらなるご協力をお願いしたい」と話した。「これからも受章に恥じないよう、できるだけ続けていく」その笑顔は驚くほど元氣だ。

瑞宝
単光章
渡部
利さん

受章おめでとうございます

緑十字
章
長谷川
庄英さん

交通栄誉章である 緑十字金章を受章

Profile はせがわ・しょうえい

1937年西久保生まれ、85年から現在までの26年間猪苗代地区交通安全協会、03年からは猪苗代地区交通安全協会会長として活躍中。その手腕は猪苗代にとどまらず、03年から現在まで県交通安全協会理事も務める。
●主な受賞歴 90年 優良運転者として緑十字銅章、04年 優良運転者として緑十字銀章 など



持ち前の正義感と誠実な人柄、交通安全に対する高い指導力で地域の安全に貢献する長谷川庄英さん(72)は西久保。警察庁と全日本交通安全協会が主催する第50回交通安全全国民運動中央大会の席上で交通栄誉章「緑十字金章」を受章した。
「地域の先輩方、関係機関の皆さんのご支援、ご協力のおかげで受章することができました」と喜びを語る。
85年から猪苗代地区交通安全協会翁島分会副会長に就任。以来現在まで26年間にわたり地域の交通安全活動に尽力している。猪苗代地区交通安全協会翁島分会会長、猪苗代地区交通安全協会副会長などを歴任し、03年から猪苗代地区交通安全協会会長、県交通安全協会理事を務め現在に至る。
「第50回の記念大会。天皇、皇后両陛下が出席された席上で、全国の金章受章者101人を代表して受章できたことは大変名誉なこと。これからもより一層活動に励みます」と抱負を語った。

E

 elementary school

厳しい寒さの中全力尽くす

第38回野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会は2月3日、猪苗代スキー場と昭和の森クロスカントリーコースで開催されました。

大会には町内の5、6年生の児童ら約220人が出場、アルペンの大回転と距離のクラシカルで熱戦を繰り広げました。

各部門の優勝者は次のとおりです(太字は各競技の最高記録を出した児童に贈られる目黒香苗賞受賞者)。

【アルペン】 5年女子 **遠藤咲良**(長瀬)、6年女子 **渡部真綺**(猪苗代)、5年男子 **岡野大我**(猪苗代)、6年男子 **渡部穂高**(長瀬)

【距離】 5年女子 **笹生真由**(吾妻)、6年女子 **武田里緒菜**(千里)、5年男子 **吉田廉**(千里)、6年男子 **神汰輝**(長瀬)、女子リレー 千里小学校、男子リレー 吾妻小学校



写真上 時折雪が吹きつける悪コンディションの中で頑張った男子の大回転。
写真下 氷点下5度と厳しい寒さの中のレースとなった距離。表彰式では児童たちの笑顔がはじけました。

J

 junior high school

全員合格の願いをリンゴへ

J A あいづから町内の3中学校の3年生へ「合格祈願リンゴ」を贈る贈呈式は1月13日、町役場庁で開催されました。

このリンゴは、今年高校を受験する生徒の合格を祈願して、J A あいづが農家に生産をお願いしていたもの。J A あいづの五十嵐孝夫代表理事専務は「このリンゴはもちろん、朝昼晩とおいしい米と新鮮な野菜を食べて勉強を頑張ってください」と生徒らを激励、各校の代表と教頭先生に各クラス分のリンゴを手渡しました。

生徒を代表して吾妻中3年の渡部佳祐さん(写真中央)が「リンゴに込められた思いを受け止め、しっかりと勉強を頑張り、この春には志望校合格を勝ち取りたい」と決意表明とお礼の言葉を述べました。

受験生の皆さん、風邪やインフルエンザなどに気をつけて頑張ってください。



写真上 「1日1日を大切に勉強する」と関和貴弘さん(左 猪中)、「立派なリンゴに負けないよう頑張る」と伊藤大地さん(右 東中)。
写真下 五十嵐専務(右)からリンゴを受け取る伊藤さん。

スクールトピックス

ニュース INAWASHIRO



猪高生が献血を呼びかける

猪苗代高校の生徒たちは12月23、25日の両日、町内の商業施設や献血会場などで献血協力の呼びかけを実施しました。

全国で実施された「全国学生クリスマス献血キャンペーン2009」の一環として取り組んだもので、23日は町内のスーパー前で啓発チラシを配り、25日は町役場で開催された献血に協力してくれました。

猪苗代高校JRC委員会の呼びかけに答えてボランティアに参加した2年生の生江英理佳さんと峯村愛実さんは、買い物に来たお客さんに献血への協力を訴えました。

町役場の献血会場では、1年生の吉田智美さんと武藤美侑さんが、献血者にケーキなどの記念品を手渡しました。

冬場は特に血液が不足します。町民の皆さんの献血への協力をお願いします。



写真上 献血者にクリスマスにちなんだケーキなどを手渡す武藤さん(左)と吉田さん(右)。
写真下 献血への協力を呼びかける生江さん(右)と峯村さん(中央)



川保園児らが八日市を見学

川桁地区の新春を告げる初市「八日市」は1月8日、町防災センター前で開かれ、川桁保育所の園児ら約30人が見学に訪れました。

起き上がり小法師、風車やだるまなどを興味深く見つめる子もいれば、雪遊びに夢中な子、早く輪投げに挑戦したい子もいるなど、子どもたちの登場で会場はにぎやかな雰囲気に包まれました。

先生と一緒に起き上がり小法師を買った後は、いよいよ輪投げに挑戦。順番に並んで輪投げを楽しみました。なかなかうまくいかない様子でしたが、運良く商品を獲得した子は得意げな顔。「僕は缶コーヒーは飲めないからお父さんにあげるんだ」と言っていました。

町商工会長瀬支部の主催で開催され、天候にも恵まれた八日市。縁起物を買って終えた地域の人たちは、会場で遊ぶ子どもたちをやさしく見つめていました。



写真上 行儀良く並んで輪投げに挑戦。みんなどれを狙っていたんでしょうか。
写真下 先生と一緒に起き上がり小法師を選ぶ子どもたち。どれも同じに見えて迷っちゃう。

H

 high school

N

 nursery school



「地域の宝」を火事から守る

国重文の天鏡閣で文化財防御訓練



水幕ホースと放水による消火訓練の様子

町内の貴重な文化財を守り、後世に伝えるための文化財防火デー火災防御訓練は1月26日、天鏡閣で実施されました。

訓練は館内の火災報知設備が火災を感知したことを想定し開始。119番通報、入館者の避難誘導、館内の文化財の搬出、天鏡閣職員の初期消火訓練や第2分団などによる放水訓練などを実施しました。

訓練終了後、津金町長は「寒さが厳しい中、きびきびとした訓練を見せてもらった。地域や国にとって貴重な文化財を守るという気持ちでこれからも頑張ってもらいたい」とあいさつをしました。

子どもたちの生活に安心を

川桁保育所に空気清浄機2台を寄付



左から吉野さん、悠ちゃん、陽生くん

(株)パナレイク(吉野満代表取締役)は1月12日、川桁保育所へ加湿空気清浄機2台を寄贈しました。

この空気清浄機は、お孫さんが川桁保育所に通っている吉野代表が「インフルエンザの流行する時期に、親や子どもたちが少しでも安心して生活できるように」との思いから贈ったものです。

贈呈式では社員の吉野貴之さんが「電化製品のことはおまかせですが、病気は治せません。病気の感染拡大防止などに役立ててください」とあいさつ。園児代表の本多悠ちゃんと佐藤陽生くんにも目録を手渡しました。

スキー大会で中高生が活躍

中体連、高体連などで入賞者続出



吉田元選手(猪苗代高校1年)

1月に入り、県内のスキー場やクロスカントリースキーコースでは、次々とスキー大会が開催されました。選手の皆さんの素晴らしい成績の一部を紹介します(成績上位者多数のため、2位までの紹介とさせていただきます)。

第55回県高校体育大会スキー大会(1月14日～16日)

男子距離クラシカル10キロ 優勝 吉田元(猪苗代高1年)
女子距離クラシカル5キロ 優勝 五十嵐訓子(猪苗代高1年)
2位 橋本詩歩(猪苗代高2年)

男子大回転 優勝 井上賢之介(猪苗代高3年)
女子大回転 2位 上遠野祐佳(猪苗代高3年)

男子距離リレー 2位 猪苗代高、女子距離リレー 優勝 猪苗代高校
男子回転 優勝 井上賢之介(猪苗代高3年)
女子回転 2位 上遠野祐佳(猪苗代高3年)

男子フリー15キロ 2位 吉田元(猪苗代高1年)
女子フリー10キロ 優勝 橋本詩歩(猪苗代高2年)

第52回県中学校体育大会スキー競技大会(1月13日～15日)

男子距離フリー5キロ 優勝 佐藤和貴(東中3年)
女子距離フリー3キロ 2位 菅井千穂(東中3年)
女子回転 優勝 小檜山優(猪苗代中3年)
男子距離クラシカル5キロ 優勝 佐藤和貴(東中3年)
2位 山崎智之(猪苗代中2年)

女子距離クラシカル3キロ 優勝 菅井千穂(東中3年)
男子距離リレー 優勝 猪苗代中、2位 東中、4位 吾妻中
女子距離リレー 優勝 東中、2位 猪苗代中、5位 吾妻中

第46回東北中学校スキー競技大会(1月27日～29日)

女子距離フリー3キロ 8位 菅井千穂(東中3年)
女子距離リレー 4位 東中



菅井千穂選手(東中3年)

1年間の無火災などを祈願

町消防団幹部らが出初め式



町民の皆さんが安全に暮らせるよう祈願しました

今年1年の無火災、無災害などを祈願する出初め式は1月6日、町内の諏訪神社で執り行われました。

式には町消防団幹部など約40人が出席し、玉ぐしをささげて町民の安全を祈願しました。

神事後、津金町長が「火災に対する備えはもとより、自然災害への備えにも配慮し、地域の皆さんが安心して暮らせる体制づくりをお願いしたい」、土屋孝彦団長は「消防団員としての職務を全うする意識を新たにしてほしい」とあいさつ。

関澤和人と町議会議長、小檜山善継県議らが祝辞を述べました。

雪の中、縁起物を求め行列

新春恒例の十三日市が開催される



雪の中多くの買い物客でにぎわった商店街

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、本町・新町通り(中央通り商店街)で開催されました。

当日は雪が降り続くあいにくの天気になりましたが、通りには起き上がり小法師、風車やだるまなどの縁起物や、大判焼き、たこ焼きや焼きそばなどの露店が並び、多くの買い物客でにぎわいました。

また、昨年末に販売されたプレミアム商品券で買い物をした人が応募できるお年玉プレゼント抽選会も開催され、豪華賞品当選者の発表に会場が沸きました。

検診結果を健康づくりに生かそう

あなたの健康を守るため、検診の結果を生活習慣の改善に生かしていきましょう。もう一度、21年度の検診結果を見て、自分の健康レベルをチェックしてみよう。

健康診断を受けていますか

本町では20年度から40歳から75歳までの人を対象に、特定健診・特定保健指導を実施しています。これらは、生活習慣病を予防するため、メタボリックシンドロームおよびその予備群に該当する人を選び出し、生活習慣の改善を支援するものです。

併せて、各種がん検診を実施しています。がんは日本人の死亡原因の第1位で全体の約3割を占めています。

がんになる最大の原因は細胞の老化です。誰もががんにかかる可能性があります。

医療技術の進歩により、多くのがんが治せるようになりましたが、そのためには早期発見が大切です。自覚症状がない段階で早期に発見・治療できるように、がん検診も積極的に受診しましょう。

(※がん検診は症状のない人のための検査です。明らかに症状がある人は、早めに医療機関で適切な検査や治療を受けてください)

特定検診やがん検診で「要精密検査」となっている皆さん。精密検査は受けましたか

せっかく検診を受けて危険な箇所が見つかったのに、そのままにしておくと体の状態がじわじわと悪化し、やがて取り返しのつかない深刻な状態になってしまいます。

健康レベルが悪化していくほど改善は難しくなります。ぜひ、今のうち



精密検査は必ず受けましょう

に精密検査を受けてください。

毎年「要精密検査」と判定される人は、町の検診を受診することが適切でない場合があります。今後の受診について、主治医と相談することをおすすめします。

検診結果が「要指導」「異常なし」だった人も一つ一つの検査項目が前回と比べてどうだったか検査値の変化を見てみましょう。

あなたは今どのレベルにいますか

生活習慣病は、次のように入行していきまします。レベル1
不健康な生活習慣

- 運動不足・不適切な食生活(カロリー・食塩・脂肪の摂りすぎ、酒、煙草、ストレス)
 - 内臓脂肪がたまるレベル2
 - 肥満・高血圧・高血糖・脂質異常
 - 生活習慣病になるレベル3
 - 内臓脂肪型肥満・高血圧症・糖尿病・脂質異常症
 - 重症化や合併症にレベル4
 - 心筋梗塞・脳卒中・糖尿病の合併症・がん
 - 尿病の合併症・がんレベル5
 - 生活機能の低下
 - 半身まひ・寝たきり・認知症など
- まずは日常生活で意識的に体を動かし、脂肪・糖分・塩分を控えることから始めましょう。
- 検診結果を生活習慣改善に生かし、病気の予防・健康づくりにつなげましょう。

女性の健康づくり教室を開催します

厚生労働省では、女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した日々を過ごすことを支援するため、3月1日から8日までを「女性の健康週間」と定めています。

この週間に合わせて、「こころの健康・からだの健康」いつも楽しく：ワクワク生き生き過ごす」をテーマに講演会を開催します。

皆さんの参加をお待ちしています。

- ▼開催日時 2月23日(火) 午後2時～3時30分
- ▼開催場所 町役場3階 正庁
- ▼講師 町内 小川医院 今田 剛先生
- ▼問い合わせ先 保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62)21115



知らないおじさんにちょっと緊張気味の冬愛ちゃん。大好きなパパとママと一緒にポーズ。

「健康にすくすく育って、将来は猪苗代の偉人、野口英世のようにスケールの大きな人間になってほしい」とパパの学さん。

五十嵐と冬愛ちゃん

平成21年2月生まれ
～上ノ上
学さん・佐知さん夫婦の長女

クマさんのポンチョに身を包んで役場に現れた冬愛ちゃん。かわいらしい姿にみんな笑顔で振り返ります。

元プロスノーボーダーの学さんとボード好きの佐知さん。冬をこよなく愛する二人の子どもなので冬愛ちゃんも名付けられました。

10カ月くらいから歩き始めるなど、運動神経の良さは両親譲り。今年からはパパの勤めるスキー場でソリデビューを果たし、大喜びだったそうです。

家の中ではテレビ番組の音楽に合わせて歌ったり踊ったりして夢中で遊んでいます。ママが電話で話す姿を真似するなど、鋭い観察眼を見せることも。

最近お気に入りの食べ物、焼きのりだそうです。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

サークル紹介

Circle introduction

学びいなの一室に整然と並ぶミシン。作りかけの洋服を手にミシンと向き合うのはわくわくソーイングの皆さんです。現在、約20人の会員で活動しています。

「昔の洋裁の形にこだわらない、自由な裁断や縫製ができるのが魅力です。自分でデザインしてみたり、子どもとのペアリングを手作りしたり、昔の服を今風にリフォームしたりすることもできます」と話すのは鈴木陽子代表。

活動に興味のある人、ミシンの使い方がよく分からない人など気軽に問い合わせてください。

☎(72)0180

※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。毎月一団体ずつ紹介していきますので、希望する団体は総務課秘書広報業務まで問い合わせください。
☎(62)2111

わくわくソーイング

(鈴木 陽子代表)



(写真左)型紙を写しておけば、自宅でも楽しめます (写真中)思いどおりの形に生地をカットしていく。緊張する瞬間です (写真右)先生がお手本を見せてくれるので安心です

先生の指導を受けながら、オリジナルの服作りに挑戦です



体験交流館ニュース

成人講座 料理教室を開催しています

今年の料理教室は「アジア各国の家庭料理に挑戦しよう」をテーマに、1月15日からスタートしました。

1回目は中華料理で、町内在住の宋美珍先生を講師に招き、水餃子・焼き小籠包・エビチリ・海鮮スープ・杏仁フルーツの5品に挑戦しました。

水餃子と小籠包の生地は、小麦粉から作る手作り。「こんなに簡単に生地が作れるとは思わなかった」「小籠包は蒸すものと思っていたが、焼いた方が簡単でおいしい」などと驚きの声が上がりました。



ほかにエビチリのエビは、卵白と片栗粉をよくもみ込み、色が変わる程度にサッと揚げるとプリプリの食感が出るなど、プロの技を教えてくださいました。講師の宋先生は、烏龍茶で有名な中国の福建省の出身。旦那さんとともに町内の中華料理店に勤務、猪苗代に来られて15年になるそうです。

今回のメニューのレシピは、携帯サイトでご覧になれます。右のQRコードを携帯電話で読み込んでください。今後はインド料理・韓国料理・日本料理と続きますが、講座が終わり次第、携帯サイトを更新していきたいと思ひます。



QRコード

利用者が協力して大掃除

昨年の12月26日(土)、生涯学習課の職員と体験交流館の皆さんが協力して、年末の大掃除を実施しました。



利用者みんなで協力して、より良い施設にしていきたいと思ひます。皆さんのご協力をお願いします。

ボランティアスタッフ研修会

体験交流館で開催される行事のボランティアスタッフ育成研修会を開催します。今回は舞台関係・音響関係の研修となります。皆さんも私たちと一緒に舞台を創ってみませんか？

興味がある人は、体験交流館まで電話で申し込んでください。

■舞台関係 22年2月24日(水)・25日(木) 18:30～21:00

■音響関係 22年3月11日(木)・12日(金) 18:00～21:00

※2日間の研修となりますので、各研修とも2日連続で参加できる人が対象となります。 問い合わせ先 ☎(72)0180



ふるさと歴史館ニュース

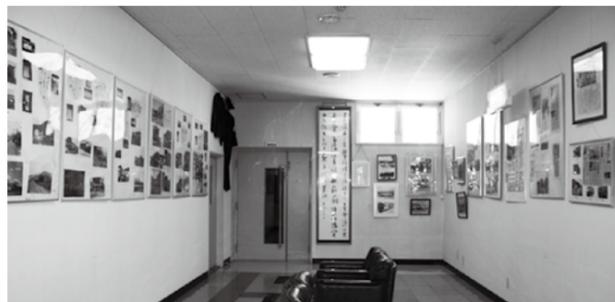
図書コーナーに「就活コーナー」を開設

深刻な状況が続いている就職問題。そこで、少しでも就職活動をしている人の役に立てばと、ふるさと歴史館の図書コーナーに「就活コーナー」を設置して関連図書を用意しました。

【新刊】

- 就活こんなときどうする辞典
- 30分でわかる!!失業再就職マニュアル
- ミセスのためのハッピーリワーク完全パイブルほか

丘灯至夫先生を偲んで 沼尻軽便鉄道写真展



かつて川桁一沼尻間を運行していた沼尻軽便鉄道をモデルにして作られた歌、「高原列車は行く」の作詞者である丘灯至夫先生が、昨年の暮れに逝去されました。

「沼尻鉱山と軽便鉄道を語り継ぐ会」では、先生のご功績をしのぶとともに猪苗代が舞台となった素晴らしい歌をこの世に残してくれたことへの感謝の意味を込めて「沼尻軽便鉄道写真展」を開催しています。

会場はふるさと歴史館で、2月28日までの開催となっています。各駅の写真などのほか、「高原列車は行く」を発表した当時の新聞記事、駅員の制服や切符など沼尻軽便鉄道に関するものが多数展示されています。沼尻軽便鉄道を懐かしく思う人も、鉄道が通っていた事すら知らない若い世代の人も、ぜひ一度ご覧ください。※午前9時～午後5時までの開館となります。

猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■体験交流協会視察「保科正之公ゆかりの高遠町を訪ねる」参加者募集

会津藩祖保科正之公生誕400年祭とNHK大河ドラマ化運動の一環として、正之公が幼少期・青年期を過ごした信州高遠町を訪れ、知識と交流を深める旅を企画しました。

どなたでも参加できますが、定員(30人)になり次第締め切りとします。

○実施日: 22年3月25日(木)～26日(金)

○費用: 16,000円程度

○視察先: 長野県伊那市高遠町

○宿泊: 伊那高原保養センター

はびる温泉 羽広荘 ☎0265(78)6155

○行程:

3月25日(木)

猪苗代町役場出発(6:00)～(磐越道・北陸道・上信越道)～伊那IC～高遠町(12:30)・昼食～高遠町研修～宿舎「羽広荘」

【研修内容】

伊那市観光協会訪問・交流、高遠町歴史博物館、保科正之公・お静の方ゆかりの史跡めぐり

3月26日(金)

宿舎「羽広荘」～名所・史跡観光(木曾街道の奈良井宿)～塩尻IC(上信越道・北陸道・磐越道)～猪苗代町役場(19:00)

○主催: 町体験交流協会

○共催: 町教育委員会・猪苗代の偉人を考える会

○申し込み先: 町体験交流館 ☎(72)0180

○申し込み期間: 2月15日から25日まで(先着順)

○問い合わせ先: 猪苗代の偉人を考える会

江花俊和 ☎090(2798)8346

参考: 高遠町 高遠城は、正之公(幼名幸松丸)が7歳で高遠藩主保科正光の養子になってから、藩主を終える26歳まで過ごした場所。居城は現在、高遠城址公園となり、1,500本のコヒガンザクラ樹林が長野県天然記念物に指定されている。

町内には保科家の菩提寺や正之公の頌徳碑、お静の方の供養塔などのゆかりの史跡が多い。

昭和48年、正之公と土津神社の縁で、高遠町からコヒガンザクラが贈られ、土津神社境内に植樹された。翌年、猪苗代町から高遠町に磐梯アカマツを贈り、交流がスタート。

平成16年、高遠町と猪苗代町が親善交流書を締結。「名君保科正之公の大河ドラマをつくる会」結成、署名活動を始める。

18年、高遠町が伊那市と合併。

21年、保科正之公像並びにお静地藏建立などで、町あげでの取り組みを実施しながら現在に至る。

■クリスマスコンサート in INAWASHIRO

「窓ぎわ文庫」主催のクリスマスコンサートは12月20日(日)、体験交流館大研修室で開催されました。本町出身の字月東さんと津金久子さんが歌を、大坪由里さんがピアノを担当し、「日本の歌」と「クリスマスの歌」の2部構成で演奏を披露、会場を訪れた約250人の観客を素晴らしい歌声で魅了しました。

このコンサートは毎年クリスマスの時期に開催予定ですので、皆さんお楽しみに・・・



猪苗代歴史探訪

猪苗代の三大偉人

郷土の偉人として挙げられる連歌師猪苗代兼載、会津藩松平家初代藩主保科正之、医聖野口英世の三人は、中世・近世・現代の各時代に登場し、文学・政治・医学と異なる分野で活躍した。彼らに共通しているのは、幼いころの不遇に耐え、己に課した厳しい忍耐と努力で学問を究め、その仁愛をもって多くの人々に救済と感銘を与えるなど、世の中に貢献した点である。

しかし、彼らが輝かしい業績を残した背景には、多くの隣人の支えがあった。兼載は心敬と宗祇に引き立てられ、中央で活躍して北野連歌会所奉行の宗匠となった。正之は見性院や保科正光のもとで育ち、將軍家光の信頼を得るまでに成長し、会津藩主となった。英世はその才を見出してくれた恩師小林栄や血闘守之助ら友人たちの援助によって、世界的な医学者となった。

人間は己の才や努力のみではなく、隣人などの支えがあつて初めて大成する。人と人との繋がりが重要であるというのはいつの時代も変わらない。



会津藩祖 保科正之公

募集

失業や就職難で困っている皆さんへ

本町では、急激な景気後退により離職を余儀なくされ失業した人および22年3月に高校を卒業見込みで就職が内定していない人に就業の機会を提供するため、臨時職員を募集します。

▼募集職種および人員

- ・技能労務員
- ・事務補助員

(パソコン操作、書類作成など) 6名

・事務補助員「新規高卒者」

(パソコン操作、窓口対応など) 8名

▼資格要件

・失業者または失業が決まっている人。

・22年3月に高校を卒業見込みで就職先が内定していない人。

※20年12月1日以降に「福島県緊急雇用創出基金事業」に従事した経験がある人は、雇用期間が制限される(雇用できなない)場合がありますので、事前に問い合わせてください。

▼勤務条件

猪苗代町緊急雇用創出基金事業

履歴書に写真貼付の上、3月5日(金)までに社会福祉協議会に提出してください(小論文、面接試験あり)。

▼雇用期間

22年4月1日からの勤務となります。

▼問い合わせ先

猪苗代町社会福祉協議会

☎(62) 5168

自動車

自動車の手続きなどはお済みですか

普通自動車・軽自動車の登録(移転・変更・まつ消)はお済みですか。

自動車税・軽自動車税は毎年4月1日現在、運輸支局・軽自動車検査協会などに登録されている名義上の所有者(割賦購入の場合は使用者)に課税されます。

例年、「持っていない車の納税通知書がきた」、「納税通知書がこない」などの多くのトラブルが発生しています。

納税通知書が間違いなく届くよう、下記に該当する人は3月31日までに登録手続きを済ませましょう。

業における臨時職員の雇用等に関する規則による。

▼応募手続き

町指定の履歴書に写真貼付の上、3月1日(月)までに、次の書類を添えて総務課へ提出してください。履歴書は総務課に備え付けてあります(面接試験あり)。

【技能労務員・事務補助員】

離職日が確認できる書類(雇用保険受給資格者証、廃業届、職務経歴書など)

【新規高卒者】

卒業見込証明書、学校長の推薦書(任意様式)

▼雇用期間

22年4月2日から23年3月31日まで

(一部事業につき、22年4月2日から9月30日まで)

▼その他

本事業は、22年度予算成立後に正式決定となることをご了承ください。

▼問い合わせ先

総務課 行政管理業務

☎(62) 2111

嘱託員・事務補助員の募集について

本町では、22年度の嘱託員や臨時職員を次のとおり募集します。

【嘱託員】

▼募集職種および人員

- ・幼稚園教諭 若干名
- ・保育士 若干名
- ・調理師 若干名

▼資格要件

心身とも健康で、次の資格を有する人

・幼稚園教諭、保育士、調理師の資格・免許を有すること。

▼勤務条件

猪苗代町嘱託員の任用等に関する規則による。

【水道事業嘱託員】

▼募集職種および人員

- ・水道事業嘱託員 1人

▼資格要件

高校卒業以上(22年3月卒業見込みを含む)で、普通自動車運転免許を有する(22年3月取得を含む)、心身とも健康な人。

給水装置工事主任技術者を優先します。

▼勤務条件

猪苗代町嘱託員の任用等に関する規則による。

▼雇用期間

22年4月1日から23年3月31日まで

(満了後は1年更新)

【臨時職員】

▼募集職種および人員

- ・事務補助員 若干名

免税軽油を使用する農家の皆さんへ

22年度軽油引取税免税証(農業用)の交付申請を3月下旬から受け付けます。希望する人は、農作業を始める前に所定の手続きをお願いたします。※すでに販売店を通じて交付申請をした人については、左記の手続きは不要です。

▼新規に申請する人

農業機械(トラクター、コンバインなど)および耕作農地面積の証明書が必要です。

町税務課と農業委員会から証明書を発行してもらい、印鑑を持参して会津地方振興局までおいでください。

▼昨年から継続して申請する人

免税軽油使用者証、昨年度の免税軽油の引き取りと使用についての報告、免税軽油の納品書および印鑑を持参して会津地方振興局までおいでください。なお、使用者証の有効期限が22年11月30日以前の人または現在使用している機械や田畑の保有面積が昨年と異なる場合は、右記書類と併せて所有農業機械および耕作農地面積の証明書が必要となります。

▼農作業受託について

「農作業のうち基幹的な作業

▼資格要件

町内在住で、心身とも健康でパソコン操作ができる人

▼勤務条件

猪苗代町臨時職員の雇用等に関する規則による。

▼応募手続き

町指定の履歴書に写真貼付の上、3月1日(月)まで総務課へ提出してください。履歴書は総務課に備え付けてあります(小論文、面接試験あり)。

▼問い合わせ先

総務課 行政管理業務

☎(62) 2111

社会福祉協議会の職員を募集します

町社会福祉協議会では、次のとおり職員を募集します。

▼募集職種および人員

- ・介護(支援)職員 1人

▼資格要件

昭和49年4月2日以降に生まれた人で、介護福祉士またはケアマネージャーの資格を有する人。

※長期勤続によりキャリア形成を図ってもらうため、年齢制限を設けています(雇用対策法施行規則第1条の3第1項第3号のイ)。

▼応募手続き

催し

いなわしろ民話の会が如風庵で公演

(専ら機械を使用して実施するものをいう)のすべての委託を受けて農作業をする人」も免税軽油の使用対象者となります。

▼問い合わせ先

福島県会津地方振興局 県税第二課

☎(29) 5264

▼開催日時

2月27日(土) 午後1時30分から3時まで

▼場所

如風庵

▼その他

入場無料

▼問い合わせ先

いなわしろ民話の会

☎080(3146)7130

町税

やむを得ず失業した人の国保税軽減

会社の倒産やリストラなどで失業した人が国保に加入した場合、22年4月以降の国保税を軽減する制度改正が予定されています。

この軽減を受けるには、本人の申し出により「雇用保険受給資格者証」の1面⑫離職年月日「理由」欄を確認の上、決定します。ハローワークに提出する前にコピーしておいてください。既に提出してしまった人でもハローワークで再発行できますので、準備をお願いします。

この制度は法令改正により実施となりますので、その際にあらかじめお知らせします。

▼対象となる人

21年3月31日以降に離職により国民健康保険に加入した人で、雇用保険の特定受給資格者および特定理由離職者に該当する人（会社の倒産・会社の都合による解雇で失業した人）

▼対象となる期間

22年4月以降課税分で離職日の翌日の属する月からその月の

から「食」を中心に健康づくりについて楽しく学びます。

▼対象

町内在住の人（平日の日中、研修会に参加できる人）

▼受講期間

22年4月～23年3月（月1・2回程度）

▼研修内容

健康づくり全般の学習と調理実習など

▼申込方法

22年3月19日（金）までに保健福祉課健康づくり業務まで電話で申し込んでください。

※講座修了後は、食生活改善推進員として活動します。

自分のため、家族のため、そして地域みんなのために、あなたも一緒に健康づくりの勉強をしてみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

▼申し込み・問い合わせ先

保健福祉課 健康づくり業務 ☎(62) 21115

男性だって楽しく料理 男の料理教室

町食生活改善推進員会では、「男の料理教室」を開催します。自ら料理を楽しむことで、健康に気を配り、元気な毎日を過ごしましょう。料理の後は健康のため、ちょっとした運動も実



参加した皆さんは、毎回料理を楽しんでいます

属する翌年度末まで

▼対象となる税額

課税の基礎となる給与所得を三割にして国保税を計算

▼必要な書類

雇用保険受給資格者証

▼問い合わせ先

町民生活課 国保年金業務 ☎(62) 21114

相談

行政相談委員に相談してみませんか

行政相談委員の定例相談を実施します。定例相談は毎月1回第3水曜日に開催しています。

▼猪苗代町行政相談委員

宮沢 重正さん（下館）

☎(66) 3995

▼開催日時

2月17日（水）、3月17日（水）

午後1時から3時まで

▼場所

町役場3階 日本間

▼その他

相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62) 21111

人権問題や法律などの相談はこちら

毎日の生活の中で、人権問題ではないかと感じたことや法律の取り扱いが分からなくて困ったことはありませんか。

そんな時には、人権擁護委員と行政相談委員が問題解決のお手伝いをします。この機会にぜひご相談ください。

▼開催日時

3月9日（火）

午前10時から午後3時まで

▼場所

町役場3階 日本間

▼その他

相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報業務

☎(62) 21111

生活

町指定ごみ袋が変更になります

（炭酸カルシウムを含有しない指定ごみ袋になります）

本町では、焼却炉の劣化防止のため、炭酸カルシウム25%以上含有袋を町のごみ袋として指定してきましたが、ごみを共同処理している会津若松地方広域市町村圏整備組合の焼却施設の高温対策改修などにより、炭酸カルシウム含有が不要となりました。

このため、猪苗代町指定ごみ

掲示板

告示

第124号「配当計算書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第125号「搜索調書（謄本）の公示送達について」

（税務課収納業務）

第126号「平成21年度国民健康保険税督促状の公示送達」

（税務課収納業務）

第127号「猪苗代町子育て応援特別手当（平成21年度版）支給事業実施要綱を廃止する要綱（保健福祉課社会福祉業務）

（保健福祉課社会福祉業務）

第128号「字の区域を変更する件」

（総務課秘書広報業務）

第1号「債権差押書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第2号「公売通知書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第3号「交付要求書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第4号「国民健康保険被保険者証の無効告示」

（町民生活課国保年金業務）

第5号「充当通知書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第6号「債権差押書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第7号「差押書の公示送達に

袋を炭酸カルシウムが含有されない通常のポリエチレン製の袋とします。炭酸カルシウム含有の表記が無くなりますが、ごみ袋のデザインなどは変更ありません。

小売店での販売は在庫が無くなり次第、順次切り替わります。手元にある炭酸カルシウム含有の指定ごみ袋は、使い切るまで使用することができます。

これまで炭酸カルシウム25%以上含有の半透明レジ袋もごみ袋として使用を認めてきましたが、今回の変更に合わせて炭酸カルシウムを含有しない普通の半透明レジ袋についても使用を認めることとします。

なお、これからもごみを排出する際は氏名を書いてごみステーションに出してください。

▼問い合わせ先

町民生活課 生活環境業務

☎(62) 21114

募集

22年度食改さん養成講座受講生募集

健康の基本は「運動」「休養」「食」の三本柱です。食生活改善推進員養成講座では、その中

ついて」（税務課収納業務）

第8号「充当通知書の公示送達について」

（税務課収納業務）

第9号「猪苗代町新型インフルエンザワクチン接種助成事業実施要綱の一部を改正する要綱（保健福祉課健康づくり業務）

（保健福祉課健康づくり業務）

第10号「町議会臨時会の招集告示」

（総務課行政管理業務）

第11号「平成21年度国民健康保険税督促状の公示送達」

（税務課収納業務）

公告

第49号「売却不動産の見積価格公告」

（税務課収納業務）

第50号「農用地利用集積計画について」

（農業委員会農地業務）

第51号「猪苗代町農業振興地域整備計画の変更について」

（農林課農林業務）

第1号「公売及び見積価格の公告について（第7号）」

（税務課収納業務）

第2号「猪苗代南部土地区画整理事業の事業計画取消し縦覧に係る公告について」

（建設課都市整備業務）

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。それぞれの担当課に問い合わせてください。

猪苗代警察署管内の犯罪・交通事故発生状況 (平成21年12月31日現在)

1 犯罪発生状況					
町村別	年別	平成21年	平成20年	増減	増減率%
猪苗代町		146	106	40	37.7
磐梯町		22	25	-3	-12.0
裏磐梯		15	14	1	7.1
計		183	145	38	26.2

罪種別	町村別		猪苗代町		磐梯町		裏磐梯	
	21年	20年	21年	20年	21年	20年	21年	20年
窃盗犯計	125	81	19	17	12	11		
空き巣		15						
出店荒らし	12	3	2					
忍込み								
事務所荒らし	1							
車上ねらい	8	3					2	
自動販売機ねらい	6	2					1	
部品ねらい	3	1						
脱衣場ねらい	9	3						
金庫破り	1						1	
万引き	11	3						
置き	3	5			5	1	2	
職場ねらい	1	1	2	6	1			
同居ねらい								
さい銭ねらい	2	2	1					
野荒らし								
給油所荒らし								
スキー・スノーボード盗	6	4	9				5	4
その他の窃盗	38	27	4	5	3	3		
自転車盗	19	10			1			
オートバイ盗	2							
自動車盗	4		1					
その他の乗り物盗		1						
器物損壊	12	12	1	7	3	3		
詐欺・横領	4	3			1			
暴行・傷害	1	8	2					
その他の刑法犯	4	2			1			
総計	146	106	22	25	15	14		
増減		40		-3		1		

- スキー・スノーボードの盗難が多発しています。
- 食事などで離れる際にはワイヤーロックを付けて盗難被害を防止しましょう。

2 交通事故発生状況

死亡事故	1	2	0	0	0	0
増減		-1		0		0
人身事故	111	113	21	21	16	13
増減		-2		0		3

- ◎「PM4 (h⁺-IL7⁺) ライトオン」運動実施中です。
- ◎庄雪・凍結の道路では、速度を控え、路面状況にあった安全運転をお願いします。

お知らせ

地域づくりソフト事業 実施団体に補助金交付

全会津17市町村などで構成するあいづふるさと市町村圏協議会では、地域づくり・人づくりなどを積極的に実践する団体を支援するため、ソフト事業を対象とした補助金を交付します。

- 募集期間 2月22日(月)～3月15日(月)
- 補助金額 最大70万円 (補助対象経費の3分の2以内)
- 対象事業 広域的な波及効果があるソフト事業、地域の特色・特徴を出したソフト事業、地域間交流につながるソフト事業など
- 申請書の入手方法
 - ①あいづふるさと市町村圏協議会ホームページよりダウンロード「パーフェクトあいづ」
 - ②町役場企画財務課企画調整業務
 - ③あいづふるさと市町村圏協議会事務局
- 申請窓口 町役場企画財務課企画調整業務へ提出
- 結果通知 22年5月下旬予定
詳しくは、役場企画財務課企画調整業務に問い合わせください。

- 企画財務課 企画調整業務 ☎(62)2112

あいづふるさと市町村圏協議会事務局 ☎0242(24)6312
(〒965-0037 会津若松市中央三丁目10-12)

法務局が「法務なんでも無料相談所」を開設

福島地方法務局では、行政サービス向上の一環として、法務局で取り扱っている登記、戸籍、国籍、供託や人権擁護などの各業務について、皆さんから気軽に相談していただけるよう「法務なんでも無料相談所」を開設します。

- 開催日時 22年2月20日(土) 午前10時から午後4時まで
 - 開設場所 会津若松市中央公民館 (会津若松市追手町2-41)
 - 内容 不動産・商業登記の手続き・土地の境界問題・遺産相続、地代・家賃等の供託、戸籍・国籍、夫婦・家庭内の問題、成年後見、公証に関すること、お年寄り・子どもの虐待、いじめ・体罰問題、セクシャルハラスメントや人権問題などについて
 - 相談員 法務局職員、公証人、人権擁護委員
 - その他 電話相談も併せて実施しています。
☎024(534)2021
☎0120(007)110
☎0570(070)810
- 福島地方法務局 総務課 ☎024(534)1983

相談

借金を抱えてお悩みの皆さんの相談はこちら

福島財務事務所では、借金を抱えてお悩みの皆さんからの相談に応じるため、多重債務相談窓口を設置しています。

- 相談者が抱える借金の状況をお聞きするとともに、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎをします。相談は無料です。
 - 相談窓口 財務省 東北財務局 福島財務事務所
 - 受付時間 月曜日～金曜日 (祝祭日、年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分
- 東北財務局 福島財務事務所 ☎024(533)0064

募集

総務省が電気通信サービスのモニターを募集

- 総務省では、電気通信サービスに関する利用者の意見や要望を幅広く聞き、今後の情報通信行政に反映させるため、22年度電気通信サービスモニターを下記のとおり募集します。
- 応募資格 電話・インターネットなどの電気通信サービスに関心がある東北6県に住む満20歳以上の人で、次のモニターをお願いすることに協力できる人。ただし、総務省および電気通信事業者に勤務経験のある人やその家族を除きます。
 - モニターをお願いすること
 - ①総務省が実施するアンケートへの回答(モニター全員、年2回実施予定)
 - ②各地域で開催するモニター会議への出席(別途出席をお願いする

- 人だけ)
 - 委嘱期間 22年6月1日から23年3月31日までの10カ月間
 - 募集人員 120人
 - 募集期間 22年3月1日(月)から4月2日(金)まで(当日の消印有効) 応募方法など、詳しくは下記にお問い合わせください。
- 総務省 東北総合通信局 電気通信事業課 ☎022(221)0628 FAX022(221)0613

消防

春の火災予防運動期間 3月1日から7日まで

21年度全国統一防火標語「消えるまで ゆっくり火の元にらめっ子」

- ～火の用心7つのポイント～
- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
 - 2 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない。
 - 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
 - 4 風の強いときは、たき火をしない。
 - 5 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
 - 6 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
 - 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない。



●猪苗代消防署 ☎(62)4433

プライバシー保護のため、ホームページ掲載分の
消息欄は削除しました。ご了承ください。

※広報に氏名の掲載を希望されない場合は、窓口に申し出ください。

町の人口

平成21年12月1日現在の現住人口(前月比)	
世帯数	5,085戸(-4)
人口	7,603人(-1)
男	8,295人(+2)
女	15,898人(+1)

出生	11人	転入	29人
死亡	18人	転出	21人

平成22年1月1日現在の現住人口(前月比)	
世帯数	5,079戸(-6)
人口	7,597人(-6)
男	8,295人(+2)
女	15,892人(-6)

出生	11人	転入	28人
死亡	15人	転出	30人

- 固定資産税 4期分
 - 国民健康保険税 8期分
 - 介護保険料 8期分
 - 後期高齢者医療保険料 7期分
 - 下水道使用料 2月分
- 今月の納期 (納期限3月1日)

▼新聞報道などでご存知かもしれませんが、福島県市町村広報コンクールで町村部特選という賞をいただきました。これも快く取材に応じてくれる皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。そしてこれからもよろしく願います。

▼猪苗代高校スキー部の井上賢之介さんがインターハイの大回戦で優勝しました。おめでとうございませう。バンクーバーに出場する選手も3人います。今年の猪苗代は冬は熱いですね。みんな応援しましょう(大坂)

編集後記

広報1月号(No.591)の記事中に誤りがありました。深くお詫びして訂正いたします。

・28ページ みんなの美術館の記事中 渡部雄大さんの作品「木カー」の絵が別な絵になっていました。大変失礼いたしました。

みんなの美術館

2月は長瀬小学校、吾妻小学校のお友達の作品です

Our Museum



木カー

学校の裏にある「わくわく発見の森」。タイヤのついた大木が、僕らに乗せて緑いっぱいの世界へ連れて行ってくれる。そんな想像をして描きました。木の色にグラデーションを付けたのが工夫したところです。



渡部 雄大^{ゆうた}さん(長瀬小3年)



ふしぎなつぼから 大きなにじ

たくさん宝石のついたふしぎなつぼからにじがでたら楽しいだろうと思って、大きく描きました。大きなにじをうまく描けたところが一番のお気に入りです。



佐藤 三紀子^{みきこ}さん(吾妻小3年)



書道「メダル」

家の中で、お母さんに見られながら書きました。お母さんに見られていてもきんちょうせず、上手に書けたと思います。はらいの部分で、ゆっくり筆をあげていくところに気がつきました。



栗田 拓^{たく}さん(吾妻小2年)



書道「友」

学校の授業中に、いつもよりうまく書けるように集中して書きました。1本1本の長さのバランスやはらいの形に気がつけることができました。上手に書けて、気に入っています。



一ノ瀬 和成^{かずなり}さん(吾妻小4年)